

全国学力・学習状況調査結果の概要と指導の改善に向けて

平成28年4月19日(火)に小学校6年生並びに中学校3年生を対象に「平成28年度全国学力・学習状況調査」が行われました。

本校では、全国と比較するのではなく、旭川市教委の分析を受け、本校として正答率が80%以上のものを「成果」、60%以上80%未満であったものを「おおむね達成」、60%未満であったものを「課題」として整理しました。

【本校の結果の分析と改善点】

1 国語A（主として知識）では

「漢字を正しく読む(貯金)(省く)」はほぼ100%、「漢字を書く(種)」の問題では成果があったものの「表現の仕方について助言する」問題や「ローマ字を書く(りんご)(あさつて)・読む(hyaku)」の問題に課題が見られました。無回答率平均は4.1%でした。

そこで、視点を明らかにして書いたものを読みあったり助言し合う活動、ローマ字で書いたり読んだりする活動を充実させていくことが必要となります。

2 国語B（主として活用）では

成果があったものはありませんでした。「目的や意図に応じて、グラフや表を基に自分の考えを書く」「話の展開に沿って質問する」「目的に応じて質問したいことを整理する」問題に課題が見られました。無回答率平均は3.8%でした。

そこで、相手の説明の意図を考えながら聞く態度を大切に、質問する場面を意図的に(国語の学習以外においても)作り出すことが必要となります。また、表やグラフを用いて自分の考えを説明したり書いたりする活動を取り入れる必要があります。さらに、指定された字数以内で書く練習も必要となります。

3 算数A（主として知識）では

「小数÷小数を整数÷整数に置き換えても商が変わらないこと」「繰り上がりのある減法の計算」「少数の加法」「不等号の理解」「図形の構成要素」の問題について成果が見られた一方、「除法の計算の確かめ方法の理解」「百分率の基準量を比較量の関係の理解」の問題に課題が見られました。無回答率平均は2.5%でした。

そこで、日頃の授業でも計算の結果の見積もりや確かめの習慣を付けるようにさせることが必要となります。日常生活において増量や値引きなどの様々な場面で基準量と比較量、割合の関係を意識させることが必要となります。

4 算数B（主として活用）では、

「見つけた決まりがいつでも成り立つかを調べる」問題において成果が見られた一方、「面積が1cm²小さくなる説明を解釈し、違う場面でも適用して説明する」「ハードルの数とイン

ターバルの数の関係を把握して式に表わす」「グラフから貸出冊数を読み取り、正しくない理由を記述する」「角の大きさを基に、式の意味を説明したり並べたりしてできる形を判断する」問題等に課題が見られました。無回答率平均は9.4%でした。

そこで、算数の学習ではいくつかの事例から見つけた決まりが成り立つか検討し発展的に考察することが大切となります。必要な情報を収集し、目的に応じて表やグラフを用いて表したり、適切な判断をしたりする学習も必要です。さらに、図と式を関連付け、式の意味を解釈し合ったり、図形の構成要素に着目して論理的に考察し説明し合ったりする学習も必要となります

全体の無回答率平均は5.0%でした。

【質問紙調査票結果の傾向】

成果としては、「家で宿題をしている(98.2%)」「学校の決まりを守っている87.3%」「友達との約束を守っている(98.2%)」「いじめはどんな理由があってもいけないと思う(94.5%)」「人の役に立つ人間になりたい(90.9%)」「国語の勉強は大切だと思う(90.9%)」「国語の授業内容がよく分かる(83.7%)」「読書が好き(81.8%)」「国語の授業で学習したことは将来社会に出て役立つ(83.6%)」「算数の勉強が大切だと思う(92.7%)」「算数の授業内容がよく分かる(83.6%)」「算数の授業で新しい問題に出合った時、解いてみたいと思う(81.8%)」「算数の問題の解き方が分からない時は諦めずに方法を考える(83.7%)」「算数の授業で学習したことは将来社会に出て役立つ(90.9%)」「算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法はないか考える(83.6%)」がありました。

課題としては、「友達の前で自分の考えや意見を発表することが得意(41.9%)」「今住んでいる地域の行事に参加している(41.8%)」「国語の勉強が好き(54.6%)」がありました。

教科や授業を前向きにそして意欲的に捉えている児童が多いことを生かし、今後これを国語や算数の学習に生かしていくことが大切となります。

【質問紙調査票の項目と平均正答率の関係】

市教委の分析から、次の子どもたちに正答率の高い傾向が見られます。

- 1 「授業の中で分からないことがあれば①自分で調べる②授業後に先生に聞く」子ども
- 2 「家で学校の宿題や家庭学習を確実にする」子ども
- 3 「朝食を毎日きちんと食べている」子ども
- 4 「家の人と学校での出来事について話をしている」子ども
- 5 「テレビ・DVD・ビデオ・ゲーム・ネット・スマホの時間が少ない」子ども

本校では、朝読書、愛宕っ子学習のきまり、サマー(ウィンター)スクール、家庭学習の充実などを通して着実に成果を挙げております。今後とも教育環境を整え、今までの指導を継続するとともに家庭・地域と連携を取りながら教育活動を進めて参ります。